

デジタルカラー プリンター

取扱説明書

UP-D25MD

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～12ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

26ページの「本機の性能を保持するために」も併せてお読みください。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店にご連絡ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ① 電源を切ってください。
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜いてください。
- ③ お買い上げ店までご相談ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



指示



アース線を
接続せよ

目次

警告.....	4
注意.....	5

はじめに

本機の特長.....	13
主な使用例.....	13
各部の名称と働き.....	13
前面.....	13
裏面.....	14

準備

付属品を確認する.....	15
コンピューターと接続する.....	15
接続する.....	15
コンピューターにプリンタードライバーをインストールする.....	16

操作

プリントする前に.....	17
インクリボンを取り付ける.....	17
プリント紙を入れる.....	18
メニューで行う調整と設定.....	21
メニュー構成.....	21
メニュー一覧.....	22
メニューの操作方法.....	23
色の調整値の設定を保存する.....	23
設定値の一覧をプリントする.....	24
プリントする.....	24

その他

本機の性能を保持するために.....	26
使用上のご注意.....	26
お手入れ.....	27
感熱ヘッドのクリーニング.....	27
給紙ローラーの自動クリーニング.....	28
給紙ローラーの手動クリーニング.....	28
使えるインクリボンとプリント紙.....	29
カラープリントバック (UPC-21S/UPC-21L) について.....	29
主な仕様.....	30
アフターサービス.....	31
ライセンスについて.....	31
故障とお考えになる前に.....	31

本体ランプ表示について.....	32
詰まったプリント紙を取り除く.....	34

Microsoft、Windows は、それぞれ米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他記載されている会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。



分解禁止

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



指示

表示された電源電圧で使用する

製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。
日本国内では 100 V でお使いください。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電発火の原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

⚠ 注意

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、火災や感電の原因となることがあります。



製品の上に乗らない、重いものに乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁から 10 cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ あお向けや横倒し、逆さまにしない。



不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



お手入れの際は、電源を切る

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。付属の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。3極→2極変換プラグは使用しないでください。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。



指示

電源コードの電源プラグ及び電源コネクタは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまでさしこまないと、火災や感電の原因となります。



禁止

プリント紙排出口をのぞかない

プリント紙排出口からプリントされた紙が排出されますので、のぞきこむと失明やけがの原因となることがあります。プリント紙排出口はのぞかないでください。



禁止

本体内部の部品をさわらない

必要な時（ヘッドクリーニング、紙づまりの処理など）以外に、本体内部の機構部品をさわると、シャープエッジなどにより、けがの原因となることがあります。



禁止

リボンドアパネルを開けたままにしておかない

リボンドアパネルを開けたままにしておくと、ぶついたり、落下してけがの原因となることがあります。

ご注意

本機は日本においては医療機器ではありません。

ご利用にあたっての指示／用途

ソニー製 UP-D25MD は、医療グレードのコンパクトカラープリンターです。超音波診断装置、血管内超音波検査装置、内視鏡カメラ装置などで使用される診断・治療装置、そのほか適合する医療機器へ組み込むことを対象に、それらのシステムから出力される患者情報の記録や参照画像をプリントアウトするよう設計されています。

ご注意

- ・ 本機で出力した画像を診断用には使用することはできません。
- ・ 本機は医療従事者向け製品です。
- ・ 本機は診察室、検査室、手術室のような医療環境向け製品です。

警告

火災や感電の危険を避けるため、雨のあたる場所や湿気が多い場所に本機を設置しないでください。

感電を避けるため、キャビネットを開けないでください。内部の調整や設定および点検を行う必要がある場合は、ソニーのサービス担当者に依頼してください。

本機の分解や改造は禁止されています。

警告

感電の危険を避けるため、必ず安全アース付きの電源コンセントに接続してください。

警告

主電源を切断するには、電源プラグを抜いてください。設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。電源プラグを抜くことが困難な場所に ME 機器を設置しないでください。万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

医療環境で使用するための重要なお知らせ

1. 本機と接続するすべての機器は、安全規格の IEC 60601-1、IEC 60950-1、IEC 62368-1、IEC 60065、あるいは機器に適用できる他の IEC/ISO 規格等に従って承認または適合しているものをご使用ください。
2. さらにシステム全体として IEC 60601-1 規格に適合していなければなりません。信号入力部分あるいは信号出力部分に接続するすべての周辺機器が医療用のシステムとして構成されるため、システム全体として IEC 60601-1 の規格要求に適合させる責任があります。疑義がある場合には、ソニーの営業担当にご相談ください。
3. 他の機器と接続すると、漏れ電流を増加させる可能性があります。
4. 本機と接続される IEC 60601-1 に適合していないすべての商用電源で動作する周辺機器は、IEC 60601-1 に適合した絶縁トランスを追加し、それを經由して商用電源に接続してください。
5. 本機は無線周波エネルギーを発生、利用しており、周囲に放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置、使用されない場合、他の機器に対して電磁波障害を引き起こすかも知れません。本機が電磁波障害を起こす場合は（本機から電源コードのプラグを抜くことにより確認できます）、以下の方法を試してください。
 - －電磁波障害を受けている機器に対して、本機を移動してください。
 - －本機と電磁波障害を受けている機器を異なる電源システムのコンセントに接続してください。ご不明な点はソニーの営業担当にご相談ください。（適合規格：IEC 60601-1-2）

医療環境で使用するための EMC に関する重要なお知らせ

- ・ UP-D25MD は、EMC に関し特別に注意する必要があるため、取扱説明書中で提供される EMC 情報に従って設置および使用する必要があります。
- ・ UP-D25MD は、専門的ヘルスケア施設環境で使用することを意図しています。
- ・ 携帯型および移動型の無線通信機器は UP-D25MD に影響を与えることがあります。

警告

- ・ 携帯型の無線通信機器は、UP-D25MD の周囲から 30 cm 以上離して使用してください。UP-D25MD の性能の低下を招くことがあります。
- ・ UP-D25MD を他の機器と隣接または積み重ねて使用する場合には、その使用構成で正常に動作していることを確認する必要があります。
- ・ ソニー株式会社によって指定されたもの以外のアクセサリやケーブルを使用すると、UP-D25MD のエミッション（電磁妨害の放射）増加やイミュニティ（電磁妨害の耐性）低下を招くことがあります。

指針および製造業者の宣言－電磁エミッション

UP-D25MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。お客様または UP-D25MD の使用者は、それが下記の環境で使用されることを確認してください。

エミッション試験	適合性	電磁環境－指針
RF エミッション CISPR 11	グループ 1	UP-D25MD は、内部機能のためだけに RF エネルギーを使用しています。そのため、RF エミッションは非常に低く、近傍の電子機器を妨害することは、ほぼありません。 UP-D25MD は、家庭および家庭用に使用される建物に給電する公共の低電圧配電網に直接接続されている施設を含むすべての施設での使用に適しています。
RF エミッション CISPR 11 CISPR 32	クラス B	
高調波エミッション IEC 61000-3-2	クラス A	
電圧変動 / フリッカ エミッション IEC 61000-3-3	適合する	

指針および製造業者の宣言－電磁イミュニティ

UP-D25MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。お客様または UP-D25MD の使用者は、それが下記の環境で使用されることを確認してください。

イミュニティ 試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	± 8 kV 接触 ± 15 kV 気中	± 8 kV 接触 ± 15 kV 気中	床材は木材、コンクリートまたは陶製タイルとしてください。床材が合成物質で覆われている場合、相対湿度が、少なくとも 30% 以上であることを推奨します。
電気的ファストトランジェント (高速過渡現象) / バースト IEC 61000-4-4	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
サージ IEC 61000-4-5	± 1 kV 線間 ± 2 kV 線 - アース間	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
電源入力ラインでの電圧ディップ、瞬停、および電圧変動 IEC 61000-4-11	0% U_T (100% U_T のディップ) 0.5/1 サイクル ^a 40% U_T (60% U_T のディップ) 5 サイクル 70% U_T (30% U_T のディップ) 25/30 サイクル ^a (0.5 秒) 0% U_T (100% U_T のディップ) 250/300 サイクル ^a (5 秒)	0% U_T (100% U_T のディップ) 0.5/1 サイクル ^a 40% U_T (60% U_T のディップ) 5 サイクル 70% U_T (30% U_T のディップ) 25/30 サイクル ^a (0.5 秒) 0% U_T (100% U_T のディップ) 250/300 サイクル ^a (5 秒)	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。 UP-D25MD の使用者が、停電中も継続して運用することが必要な場合は、無停電電源装置またはバッテリーから UP-D25MD に電源供給することを推奨します。
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	30 A/m	30 A/m	電源周波数磁界は、典型的な商用または病院環境内の典型的な場所での特性レベルである必要があります。
近接磁界 IEC 61000-4-39	65 A/m 134.2 kHz パルス変調 2.1 kHz 7.5 A/m 13.56 MHz パルス変調 50 kHz	65 A/m 134.2 kHz パルス変調 2.1 kHz 7.5 A/m 13.56 MHz パルス変調 50 kHz	UP-D25MD の近接磁界は、典型的な商用または病院環境内の典型的な場所での特性レベルである必要があります。

備考: U_T は、試験レベルを加える前の交流電源電圧です。

a 例えば、10/12 は、50 Hz では 10 サイクル、60 Hz では 12 サイクルを意味します。

指針および製造業者の宣言－電磁イミュニティ

UP-D25MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。お客様または UP-D25MD の使用者は、それが下記の環境で使用されることを確認してください。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
伝導性妨害 IEC 61000-4-6	3 Vrms 150 kHz ~ 80 MHz ISM 帯域外 ^c	3 Vrms	携帯型および移動型の無線通信機器は、ケーブルを含む UP-D25MD のどの部分に対しても、無線通信機器の周波数に対応した式から計算された推奨分離距離以下に近づけて使用しないでください。 推奨分離距離 $d = 1.2 \sqrt{P}$
放射 RF 電磁界 IEC 61000-4-3	6 Vrms 150 kHz ~ 80 MHz ISM 帯域内 ^c 3 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz	6 Vrms 3 V/m	IEC 60601-1-2: 2007 $d = 1.2 \sqrt{P}$ 80 MHz ~ 800 MHz $d = 2.3 \sqrt{P}$ 800 MHz ~ 2.5 GHz IEC 60601-1-2: 2014 + A1: 2020 $d = 2.0 \sqrt{P}$ 80 MHz ~ 2.7 GHz ここで P は送信機器メーカーによる送信機の最大出力定格を表し単位はワット (W)、 d は推奨分離距離で単位はメートル (m) です。 固定の無線送信機からの電磁界強度は電磁気の現地調査 ^a によって決定されますが、これは各周波数範囲 ^b において適合レベル未満である必要があります。 次の記号が表示された機器の近くでは、干渉が生じる可能性があります。 

備考 1: 80 MHz および 800 MHz においては、高い方の周波数範囲を適用します。

備考 2: これらの指針は、すべての状況に適用するとは限りません。
電磁気の伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

- a 固定の無線送信機、例えば、無線（携帯／コードレス）電話基地局および陸上移動局、アマチュア無線、AM および FM ラジオ放送および TV 放送からの電磁界強度は、理論上、正確には予測することはできません。固定の無線送信機に起因する電磁環境を評価するために、電磁気の現地調査を考慮する必要があります。UP-D25MD が使用される測定電磁界強度が適用される上記の無線適合性レベルを超える場合、UP-D25MD が正常に動作していることを確認してください。もし異常な動作が観測される場合、UP-D25MD の向きや場所を変えるとといった追加措置が必要となることがあります。
- b 周波数範囲が 150 kHz ～ 80 MHz において、電界強度は 3 V/m 未満である必要があります。
- c 150 kHz から 80 MHz 間の ISM（工業用、科学用および医学用）帯域は、6.765 MHz ～ 6.795 MHz、13.553 MHz ～ 13.567 MHz、26.957 MHz ～ 27.283 MHz および 40.66 MHz ～ 40.70 MHz です。

携帯型および移動型の無線通信機器と、UP-D25MD との間の推奨分離距離

UP-D25MD は、放射無線妨害が制御される電磁環境内での使用を意図しています。お客様または UP-D25MD の使用者は、携帯型および移動型の無線通信機器（送信機）と UP-D25MD の最小距離を維持することによって、電磁干渉を防ぐことができます。最小距離は、下記に推奨されるように、通信機器の最大出力に従ってください。

送信機の 最大定格出力 W	送信機の周波数による分離距離 m				
	IEC 60601-1-2 : 2007			IEC 60601-1-2 : 2014 + A1: 2020	
	150 kHz ～ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz ～ 800 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	800 MHz ～ 2.5 GHz $d = 2.3 \sqrt{P}$	150 kHz ～ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz ～ 2.7 GHz $d = 2.0 \sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23	0.12	0.20
0.1	0.38	0.38	0.73	0.38	0.63
1	1.2	1.2	2.3	1.2	2.0
10	3.8	3.8	7.3	3.8	6.3
100	12	12	23	12	20

上記に記載されていない最大出力定格の送信機については、推奨分離距離 d （単位：メートル（m））は、送信機の周波数に適用される式を使用して決定できます。ここで P （単位：ワット（W））は送信機の最大出力定格であり、送信機器メーカーにより指定されたものになります。

備考 1： 80 MHz および 800 MHz においては、高い方の周波数範囲の分離距離を適用します。

備考 2： これらの指針は、すべての状況に適用するとは限りません。
電磁気の伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

指針および製造業者の宣言－電磁イミュニティ

UP-D25MD は、放射無線妨害が制御される電磁環境内での使用を意図しています。携帯型の無線通信機器は、UP-D25MD の周囲から 30 cm 以上離して使用してください。UP-D25MD の性能の低下を招くことがあります。

イミュニティ試験	帯域 ^a	サービス ^a	変調	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル
RF ワイヤレス 通信機器からの 近接電磁界 IEC 61000-4-3	380 – 390 MHz	TETRA 400	パルス変調 18 Hz	27 V/m	27 V/m
	430 – 470 MHz	GMRS 460 FRS 460	FM ± 5 kHz 偏差 1 kHz 正弦波	28 V/m	28 V/m
	704 – 787 MHz	LTE 帯域 13、17	パルス変調 217 Hz	9 V/m	9 V/m
	800 – 960 MHz	GSM 800/900 TETRA 800 iDEN 820 CDMA 850 LTE 帯域 5	パルス変調 18 Hz	28 V/m	28 V/m
	1,700 – 1,990 MHz	GSM 1800 CDMA 1900 GSM 1900 DECT LTE 帯域 1、3、4、 25 UMTS	パルス変調 217 Hz	28 V/m	28 V/m
	2,400 – 2,570 MHz	ブルートゥース WLAN 802.11 b/g/n RFID 2450 LTE 帯域 7	パルス変調 217 Hz	28 V/m	28 V/m
	5,100 – 5,800 MHz	WLAN 802.11 a/n	パルス変調 217 Hz	9 V/m	9 V/m

備考：これらの指針は、すべての状況に適用するとは限りません。
電磁気の伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

a サービスによっては、アップリング周波数のみ含まれます。

注意

本機またはアクセサリを廃棄するときは、環境汚染等のリスクに配慮し、関連した地域または国の法律、および関連した病院の規則にしたがってください。

上記の電源コード／コネクタ／プラグの使用に関してご質問がある場合は、ソニーのサービス担当者にお問い合わせください。



電源コード接続についての警告

お使いになる地域の電源供給規格に適合した電源コードを使用してください。

1. 各国の安全規制に適合する接地線を備えた 3 芯の電源コード／コネクタ／プラグを使用してください。
2. 適切な定格（電圧、電流）に適合する 3 芯の電源コード／コネクタ／プラグを使用してください。

グラフィカルシンボルの説明



取扱説明書参照

本機にこのシンボルがある箇所は、取扱説明書の指示にしたがってご使用ください。



このシンボルは製造業者を表し、隣接して製造業者名と住所が併記されます。



このシンボルは、輸入者を表し、隣接して輸入者の名称と住所が併記されます。



このシンボルは、欧州共同体における代表者を表し、隣接して欧州共同体における代表者の名称と住所が併記されます。



このシンボルは、英国における責任者を表し、隣接して英国における責任者の名称と住所が併記されます。



このシンボルは、スイスにおける正規の代表者を表し、隣接してスイスにおける正規の代表者の名称と住所が併記されます。



このシンボルは、欧州共同体における医療機器を表します。



このシンボルは製造日付を表します。



このシンボルはシリアルナンバーを表します。



このシンボルは、機器固有識別子 (UDI) を表し、隣接して機器固有識別によるバーコードが併記されます。



このシンボルは、システムの各部を同じ電位にするための等電位端子を示しています。



保存・輸送温度

このシンボルは保存と輸送環境の温度制限を表します。



保存・輸送湿度

このシンボルは保存と輸送環境の湿度制限を表します。



保存・輸送気圧

このシンボルは保存と輸送環境の大気圧制限を表します。

アクセサリ



このシンボルはバッチコードを表します。



このシンボルは再使用禁止を表します。



注意

MR (Magnetic Resonance) 環境では使用しないでください。

故障や火災、予測不能な移動を引き起こす可能性があります。

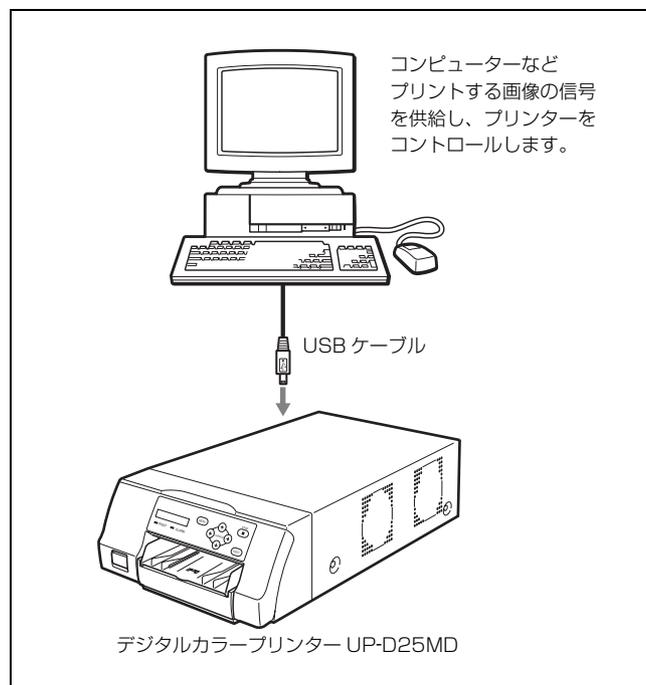
本機の特長

UP-D25MD は、コンピューターなどからの画像データを A6 サイズで印刷するデジタルカラープリンターです。入力した画像データに応じて発熱させたサーマルヘッドを専用のインクリボンに圧着し、インクリボンに塗布された昇華性インクを専用のプリント紙に転写することで印刷を行います。

UP-D25MD は、次の特長を備えています。

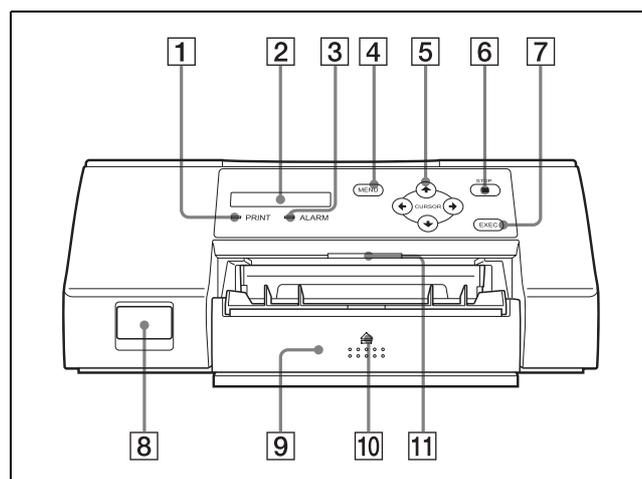
- ・ 高画質・高解像度プリント
フルカラー（各色 256 階調、1670 万色）、高解像度（約 423 dpi 精密ヘッド使用）でプリントします。

主な使用例



各部の名称と働き

前面



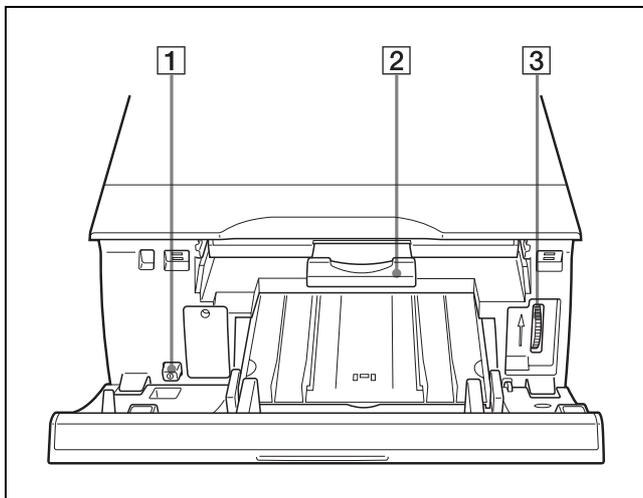
- 1 PRINT ランプ**
プリント中に点灯します。
- 2 液晶ディスプレイ**
プリンターの状態やエラーメッセージ、メニューを表示します。
- 3 ALARM ランプ**
紙詰まりなどエラー発生時に点灯します。
- 4 MENU ボタン**
メニュー画面を表示するときや、メニュー画面から通常画面に戻るときに押します。
- 5 カーソル移動ボタン（←、→、↑、↓ボタン）**
メニューの項目を選択したり、設定値を変更するときに使用します。
- 6 ■ STOP ボタン**
連続プリントを中止するときや、現在プリント中のものが終了した時点でプリントが終了します。
- 7 EXEC ボタン**
メニュー内の設定値を確定するときに使用します。
- 8 ① POWER スイッチ**
本機の電源をオンまたはオフ（入/切）にします。
- 9 給紙トレイ（18 ページ）**
プリント紙を入れておくトレイです。トレイ上には、排紙されたプリント画がたまりまます。

10 ▲ (イジェクト) マーク

給紙トレイを取り出すときに押します。

11 トレイライト

排紙口を照らします。(設定変更が可能です。)(22ページ)

リポンドアパネルを開けたとき**1 ① POWER スイッチ**

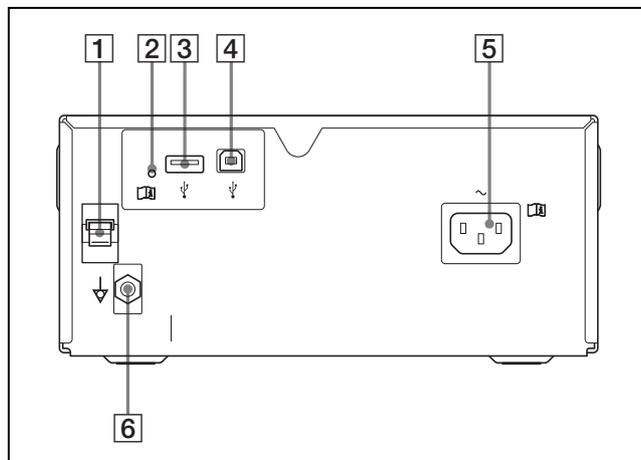
本機の電源をオンまたはオフ(入/切)にします。このスイッチにより、リポンドアパネルを開けた状態でも電源のオン/オフが可能です。

2 リポントレイ (17 ページ)

インクリボンをセットするトレイです。

3 ダイヤル (34 ページ)

プリント紙が内部に詰まったときに、手動でプリント紙を取り除きます。

裏面**1 USB ケーブルクランプ (16 ページ)**

接続したケーブルが抜けないように固定します。

2 OPTION 端子ランプ

非対応デバイスが接続された場合に点滅します。

3 ⚡ OPTION 端子 (タイプ A)

別売りアクセサリに電源を供給するための端子です。

**警告**

このコネクタは絶縁されていません。

ご使用にあたっては、本機からのみ電源を供給して動作するワイヤレスプリントシステム UPA-WU10 以外の接続は禁止します。

交流電源で動作する機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。

4 ⚡ USB 端子

Hi-Speed USB (USB 2.0 準拠) に対応した USB インターフェースを備えたコンピューターとの接続に使用します。

ご注意

接続には付属の USB ケーブルを使用してください。

5 ~AC IN (電源入力) 端子 (15 ページ)

電源コード (付属) をつなぎます。

注意

電源コードの接続には、3 極→2 極変換プラグを使用しないでください。

6 ⚡ 等電位端子

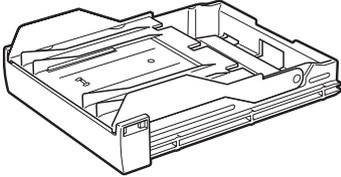
本機に接続したすべての機器の電位が等しくなります。

準備

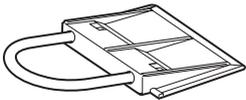
付属品を確認する

付属品を確認してください。

給紙トレイ (1)



ストッパー (1)



電源コード (1)

USB ケーブル 1-824-211-41 (SONY) (1)

ご使用になる前に (1)

感熱ヘッドクリーニングカートリッジ (1)



CD-ROM (プリンタードライバー/取扱説明書ディスク) (1)

ソフトウェア使用許諾書 (1)

保証書 (1)

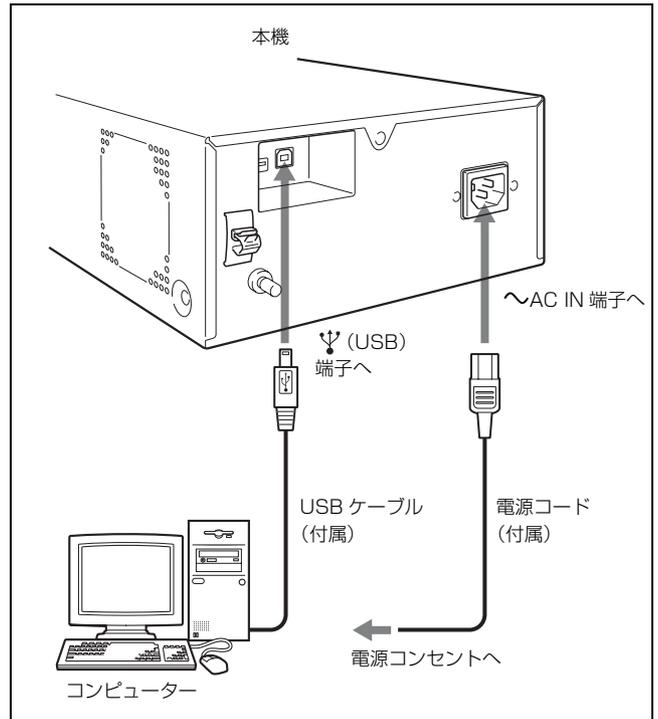
セールス会社窓口のしおり (1)

Information for Customers in Europe (欧州顧客向け情報) (1)

コンピューターと接続する

USB ケーブル (付属) でプリンターとコンピューターを接続し、電源コードも接続します。接続機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

接続する



警告

この機器のコネクターは絶縁されておりません。ご使用にあたっては、IEC 60601-1 に適合した機器以外の接続は禁止します。

交流電源で動作する IT 機器や AV 機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。

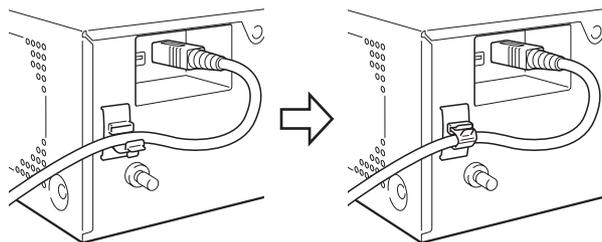
やむを得ずご使用になる場合は、IT 機器や AV 機器側の電源に絶縁トランスを接続して絶縁を行うか、接続ケーブル間にアイソレーターを接続し絶縁を行うことにより、システムとして IEC 60601-1 に適合できるレベルに感電のリスクが充分低減されていることを確認してからご使用ください。

ご注意

- 梱包箱や緩衝材は、プリンターの移動や輸送の際に必要です。捨てずに保管することをお勧めします。
- 輸送の際は、プリンターからインクリボンと給紙トレイを取り外し、プリンター内部の感熱ヘッドを固定してください。詳しくは「輸送するときは」(26 ページ)をご覧ください。

USB ケーブルを固定するには

誤ってケーブルを引っ張っても抜けないように、USB ケーブル接続後、ケーブルクランプに通して固定することをお勧めいたします。



準備

ご注意

- ・ コンピューターの説明書も併せてご覧ください。
- ・ USB ケーブルのコネクターは最後までしっかり差し込んでください。
- ・ 付属のプリンタードライバーは、ネットワーク経由での使用には対応していません。
- ・ ハブを使用した USB 接続をする場合は、動作を保証いたしません。

コンピューターにプリンタードライバーをインストールする

お使いのコンピューターが Windows 2000/Windows XP/Windows Vista の場合

プリンターとコンピューターを接続した後、プリンターの電源を入れます。インストールのしかたについては、付属の CD-ROM に格納されているインストールガイド、および Readme ファイルをお読みください。

お使いのコンピューターが Windows 7/8 の場合

プリンターとコンピューターを接続する前に、付属のプリンタードライバーをコンピューターにインストールする必要があります。インストールのしかたについては、付属の CD-ROM に格納されているインストールガイド、および Readme ファイルをお読みください。

ご注意

プリンターの電源が入っているときは、プリンターに接続しているコンピューターをスタンバイ（サスペンド）状態や休止状態にしないでください。プリンターが正しく動作しなくなることがあります。

プリントする前に

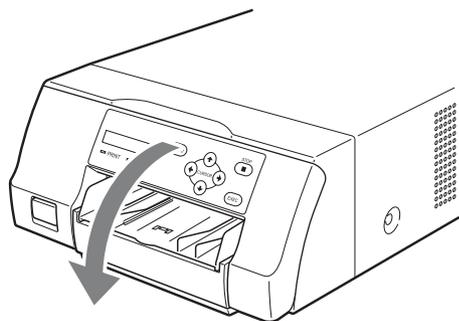
ここでは、プリンターの接続（15 ページ）が終了した後、実際のプリントを始める前の準備として、インクリボンおよびプリント紙の取り付け方を説明します。

📖 インクリボンを取り付ける

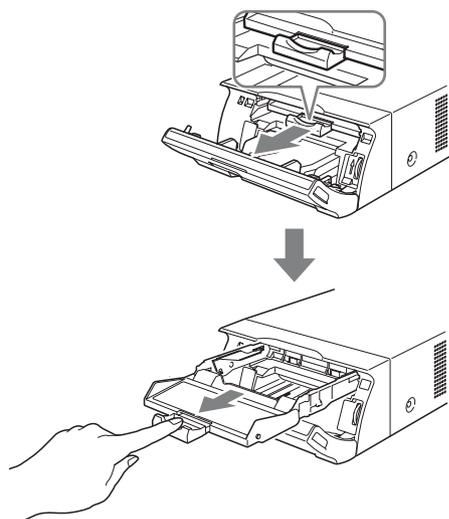
📌 ご注意

初めてお使いになる場合、ヘッドが輸送ポジションに設定されている場合があります。初めに電源を入れ輸送ポジションを解除してからリボントレイを引き出してください。また、液晶ディスプレイに「WAIT」と表示されているときは、リボンドアパネルを開けないでください。

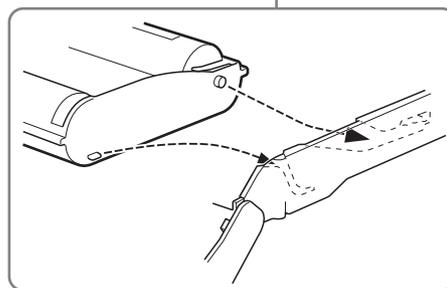
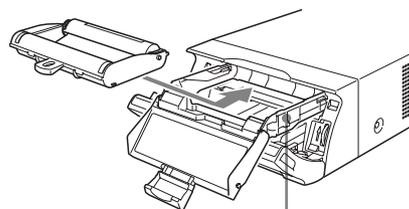
- 1 リボンドアパネルを開ける。



- 2 リボントレイをまっすぐ引き出す。



- 3 インクリボンをセットする。
 - ① インクリボンの側面の突起（左右それぞれ2か所）をリボントレイの溝に合わせます。

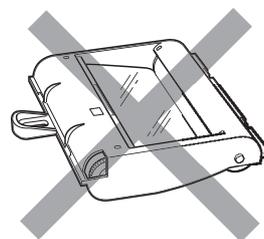


📌 ご注意

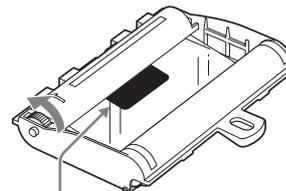
- ・ インクリボンは、表と裏を間違えないよう、正しい向きでセットしてください。

正しい向き

間違った向き



- ・ インクリボンを装着する前に、スタート位置マークが図の位置にくるように、ギアを矢印の方向に回してたるみをとってください。

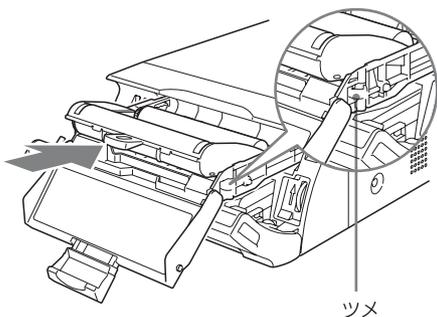


スタート位置マーク

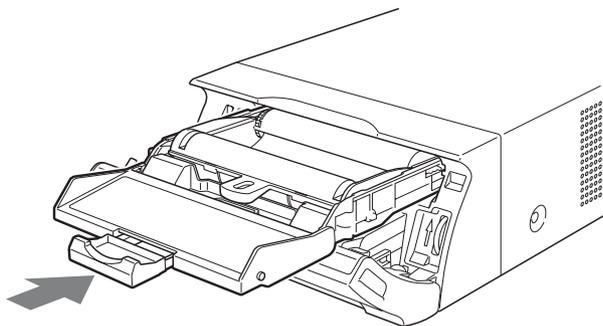
- ② インクリボンをリボントレイの奥までまっすぐに挿入します。

ご注意

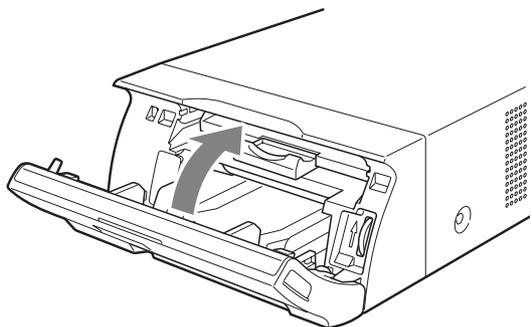
リボントレイ側面の白いツメに触れないでください。
インクリボンが正しく装着できない場合があります。



- 4 リボントレイを奥までまっすぐに挿入する。



- 5 リボンドアパネルを閉じる。



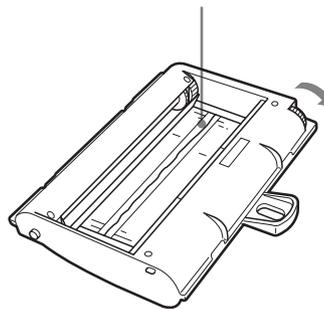
リボントレイを取り出すときは

インクリボンの交換時などにリボントレイを取り出すときは、手前にまっすぐ引いて抜いてください。

インクリボンが途中で切れてしまったときは

透明なセロハンテープなどでつなげば、残りのインクリボンを使うことができます。

セロハンテープ



セロハンテープが見えなくなるまで巻き取り側のグレーのギアを矢印の方向に回してインクリボン巻き取る（インクリボンがたるまないようにしてください）。

❶ プリント紙を入れる

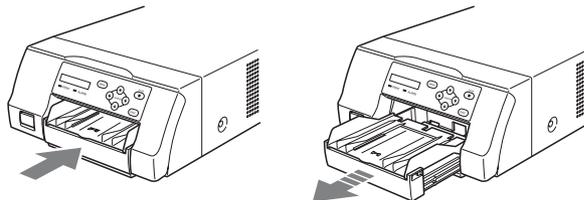
次の手順で、給紙トレイにプリント紙を入れ、プリンター本体に取り付けてください。

初めてお使いになる場合は、手順2から始めてください。

ご注意

- ・プリント面には手を触れないように注意してください。
- ・プリント紙は本機で推奨しているものをお使いください。それ以外のものをお使いになると、紙詰まりなど、故障の原因になりますのでご注意ください。インクリボンとプリント紙について詳しくは「使えるインクリボンとプリント紙」（29ページ）をご覧ください。
- ・液晶ディスプレイに「CHANGE RBN」というメッセージが表示された場合は、インクリボンがなくなった状態です。この場合は、新しいリボンに交換し、新しいプリント紙を入れてください。
- ・給紙トレイを着脱するときは、プリンターが動いて落下する可能性がありますので、ご注意ください。

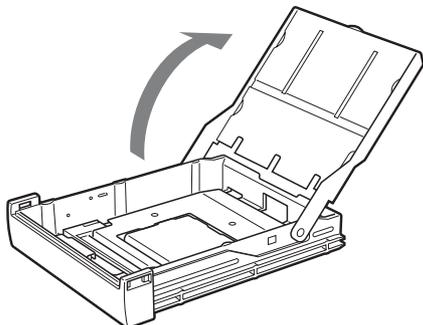
- 1 給紙トレイの▲マークの部分を押して、給紙トレイを取り出す。



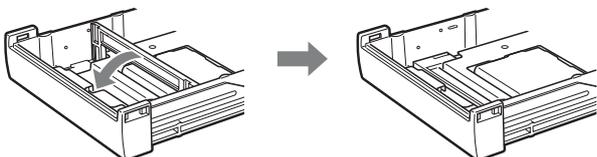
- 2 給紙トレイのふたを開け、プリント面を上にして保護シートと一緒にプリント紙を入れる。

プリントパック UPC-21L をお使いの場合：

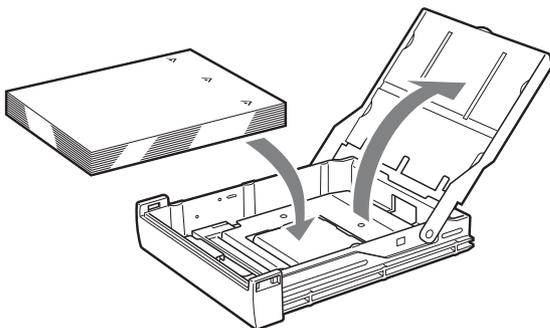
① 給紙トレイのふたを開ける。



② 給紙トレイの仕切りを立てているときは、倒す。

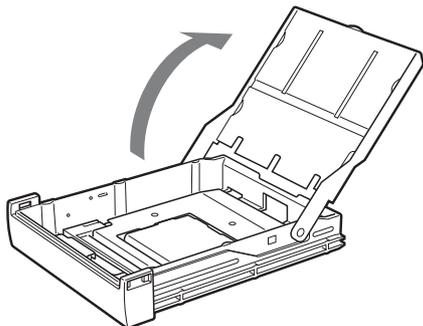


③ 保護シートの▲マークを給紙トレイ内部の△マークと同じ向きにして、プリント紙をきれいに揃えて給紙トレイに入れる。

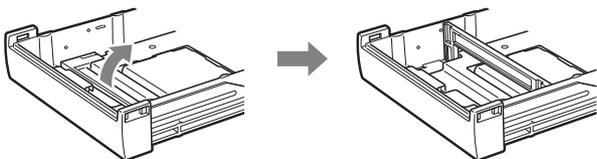


プリントパック UPC-21S をお使いの場合：

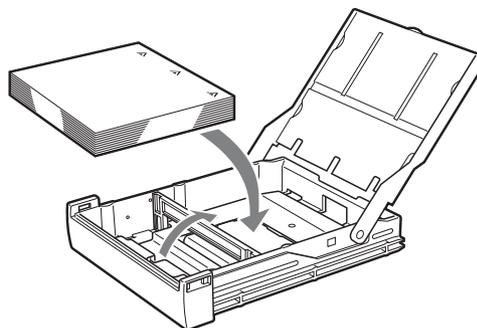
① 給紙トレイのふたを開ける。



② 給紙トレイの仕切りが倒れているときは、立てる。



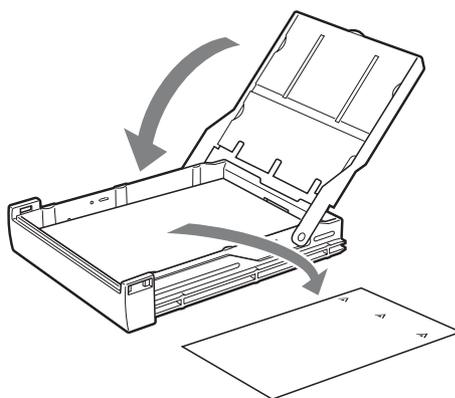
③ 保護シートの▲マークを給紙トレイ内部の△マークと同じ向きにして、プリント紙をきれいに揃えて給紙トレイに入れる。



ご注意

- ・ プリント紙のみを追加しないでください。プリント紙がなくなったら、プリント紙と一緒にインクリボンも交換してください。途中でプリント紙を補給すると紙詰まりの原因となります。
- ・ プリント紙を取り扱うときはプリント面に触れないでください。手あかやほこりが付着するとプリント面が汚れることがあります。プリント面が汚れないように、保護シート（▲▲▲マークがプリントされています）を付けたまま取り扱ってください。
- ・ 給紙トレイにプリント紙が完全に収まるように正しく入れてください。反りのあるプリント紙を使うと、給紙トレイからプリント紙がはみ出して正常に給紙できないことがあります。必ず、保護シートごとさばいて反りをなくしてから使ってください。
- ・ 異なる種類のプリント紙を混在させて給紙トレイに入れないでください。

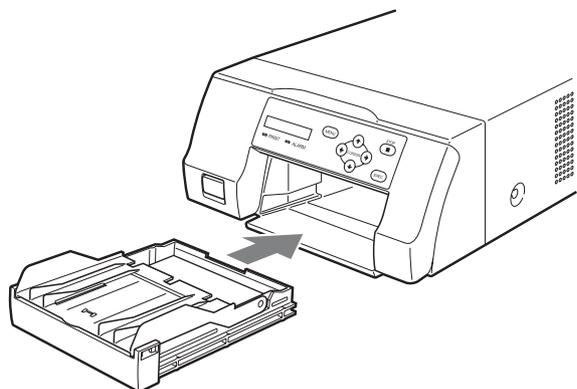
3 保護シートを取り除き、ふたを閉める。



ご注意

保護シートは捨てないで保管しておいてください。保護シートの裏面（印刷されていない面）を、クリーニングシートとして感熱ヘッドのクリーニングに使用します。クリーニングについて詳しくは「感熱ヘッドのクリーニング」（27 ページ）をご覧ください。

- 4 給紙トレイをカチッと音がするまでプリンターに差し込む。



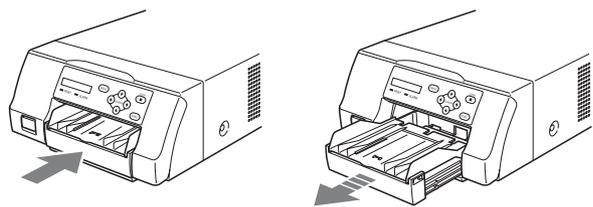
ご注意

- ・ 給紙トレイを奥まで差し込むことができない場合は、給紙トレイ挿入部にプリント紙があるか確認してください。あった場合は取り除いてください。
- ・ 排出されたプリント紙を10枚より多くためないでください。紙詰まりの原因となります。

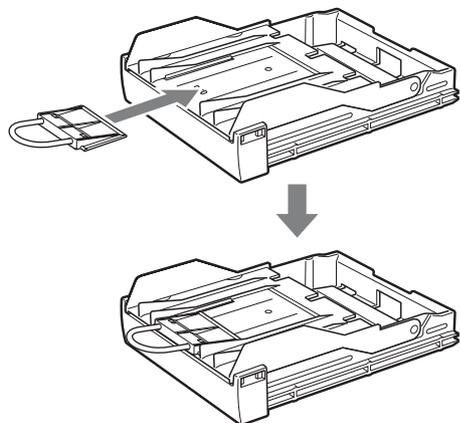
ストッパーの取り付け方法

プリント紙を複数枚排出していると、たまったプリント紙が給紙トレイから飛び出すことがあります。この場合はストッパーを給紙トレイに取り付けてください。

- 1 給紙トレイの▲マークの部分を押して、給紙トレイを取り外す。



- 2 ストッパーを、給紙トレイのふたの溝（2か所）にはめ込み、まっすぐ奥まで挿入する。



ご注意

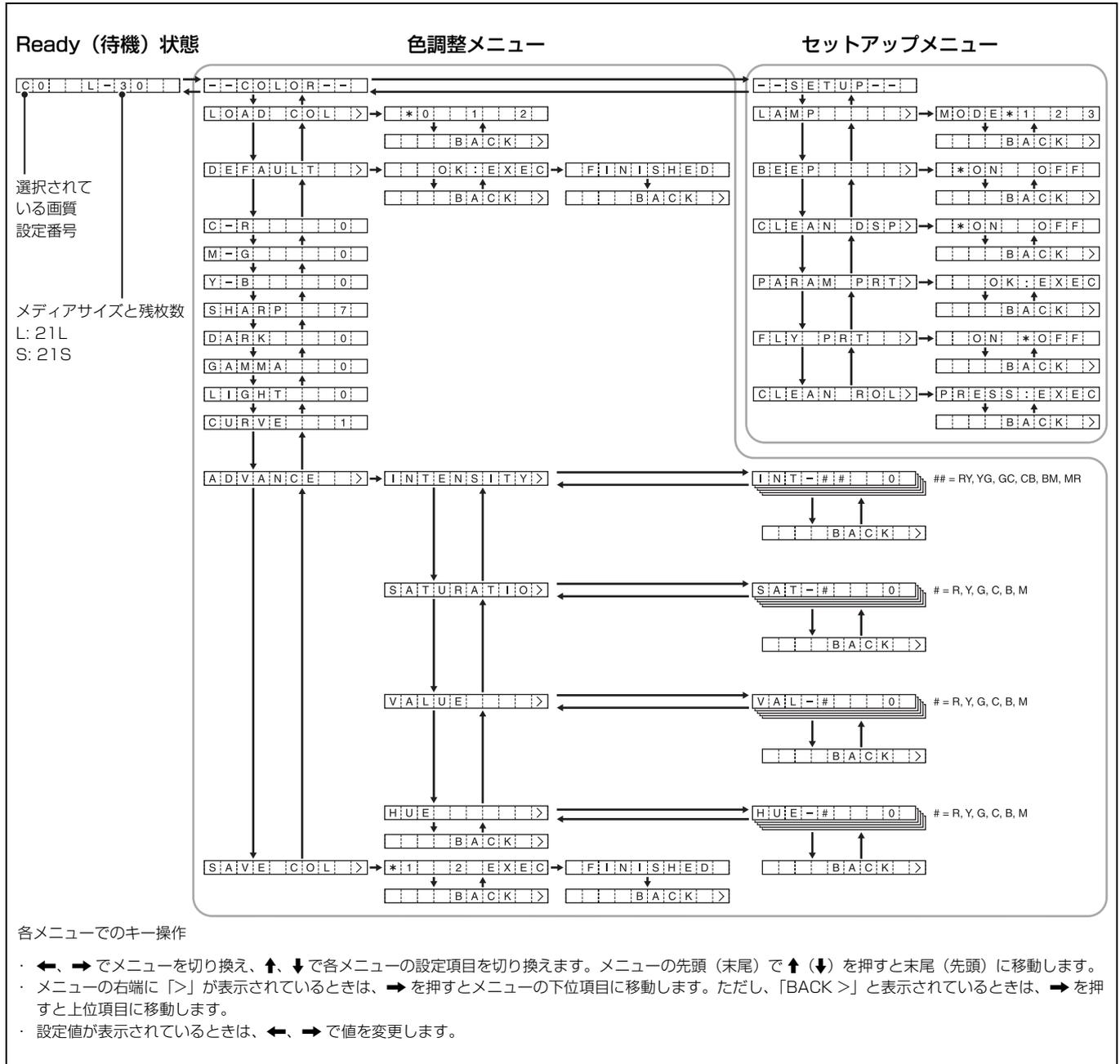
ストッパーの金属部分は引っ張らないでください。

メニューで行う調整と設定

メニューを使って、プリント画質の調整や、使用状況に合わせたプリンターの設定ができます。設定した内容は、プリンターの電源を切っても保持されます。また、画質調整の設定内容は、ユーザー設定として2つまで登録できます。

メニュー構成

液晶ディスプレイの表示が待機状態のときに MENU ボタンを押すと、メニューが表示されます。メニューの表示中は、カーソル移動ボタン (←、→、↑、↓) で各種設定を行うことができます。メニューの表示中に MENU ボタンを押すと、待機状態に戻ります。メニューの構成は下記のようになります。



メニュー一覧

メニュー項目の設定内容を一覧表で説明します。
一覧表の中で**太字**で記述されている設定値が初期設定値です。

画質調整 (COLOR) メニュー

項目	内容	設定
LOAD COL	登録されている画質設定を呼び出します。	0 プリンタードライバーで設定されている設定値 (表示のみ。プリントにはプリンタードライバーの設定値が適用されます。) 1 「SAVE」で保存した番号1の設定 (プリンタードライバーで設定された色調整は無効となり、プリンターに保存された色設定でプリントされます。) 2 「SAVE」で保存した番号2の設定
DEFAULT	画質設定1と2の画質設定値を初期状態に戻します。	EXEC ボタンを押して確定します。
C-R (Cyan - Red)	数値を増やすと赤味のかかったプリントにします。 数値を減らすとシアン (水色) がかったプリントにします。	-32 から 32 までの 65 段階で調整できます。数値 0 が標準です。 調整範囲: -32 ~ 0 ~ 32
M-G (Magenta - Green)	数値を増やすと緑のかかったプリントにします。 数値を減らすとマゼンタ (ピンク) がかったプリントにします。	-32 から 32 までの 65 段階で調整できます。数値 0 が標準です。 調整範囲: -32 ~ 0 ~ 32
Y-B (Yellow - Blue)	数値を増やすと青味のかかったプリントにします。 数値を減らすと黄色味がかかったプリントにします。	-32 から 32 までの 65 段階で調整できます。数値 0 が標準です。 調整範囲: -32 ~ 0 ~ 32
SHARP (Sharpness)	画像の輪郭を調整します。設定値を大きくするほど画像の輪郭が強調されます。	15 段階で調整できます。数値 7 が標準です。 調整範囲: 0 ~ 7 ~ 14
DARK	暗い部分の階調を調整します。	± 32 段階で調整できます。数値 0 が標準です。 調整範囲: -32 ~ 0 ~ 32
GAMMA	中間色の階調を調整します。	± 32 段階で調整できます。数値 0 が標準です。 調整範囲: -32 ~ 0 ~ 32

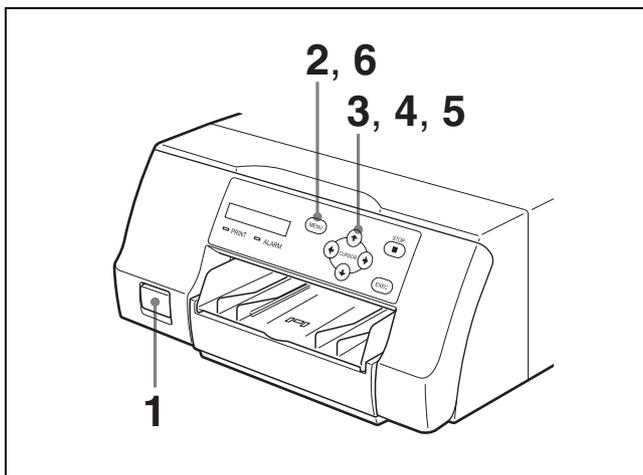
項目	内容	設定
LIGHT	明るい部分の階調を調整します。	± 32 段階で調整できます。数値 0 が標準です。 調整範囲: -32 ~ 0 ~ 32
CURVE	トーンカーブを切り換えます。	1 標準 2 硬調 3 軟調
ADVANCE	詳細な色設定を行います。	
INTENSITY	各色の色変化具合を調整します。	± 32 段階で調整できます。数値 0 が標準です。 調整範囲: -32 ~ 0 ~ 32 R-Y: 赤から黄色の間の色 Y-G: 黄色から緑の間の色 G-C: 緑からシアン (水色) の間の色 C-B: シアン (水色) から青の間の色 B-M: 青からマゼンタ (ピンク) の間の色 M-R: マゼンタ (ピンク) から赤の間の色
SATURATIO (Saturation)	各色の彩度を調整します。	± 32 段階で調整できます。数値 0 が標準です。 調整範囲: -32 ~ 0 ~ 32
VALUE	各色の明度を調整します。	± 32 段階で調整できます。数値 0 が標準です。 調整範囲: -32 ~ 0 ~ 32
HUE	各色の色相を調整します。	± 32 段階で調整できます。数値 0 が標準です。 調整範囲: -32 ~ 0 ~ 32
SAVE COL	画質調整メニューでの設定内容を登録します。異なる設定内容を2つ登録できます。	1 ユーザー設定1として登録します。 2 ユーザー設定2として登録します。 設定0はプリンタードライバーの設定値となるため、設定内容の登録はできません。

セットアップ (SET UP) メニュー

項目	内容	設定
LAMP	排紙口付近のランプの動作を設定します。	MODE 1 待機 (消灯) → 画像受信時 (点滅) → 印刷時 (消灯) → 排紙時 (点灯) → 排紙後しばらくして (消灯) MODE 2 常時点灯 MODE 3 常時消灯
BEEP	プリンター本体のキー操作音とエラー発生時のアラーム音をオンまたはオフにします。	ON プリンター本体から音がします。 OFF プリンター本体から音がしません。

項目	内容	設定
CLEAN DISP	クリーニングメッセージ表示機能の設定をします。	ON クリーニング推奨時に液晶ディスプレイにメッセージを表示します。 OFF クリーニング推奨時でもメッセージ表示をしません。
PARAM PRT	プリンターの設定値の一覧をプリントします。	EXEC ボタンを押してプリントを実行します。(24 ページ)
FLY PRT	印刷動作に入るタイミングを設定します。	ON コンピューターから画像データを受信すると同時に給紙動作に入ります。 OFF コンピューターからの画像データの受信が完了してから給紙動作に入ります。
CLEAN ROL	給紙ローラーの手動クリーニングを行います。	EXEC ボタンを押して手動クリーニングを実行します。(28 ページ)

メニューの操作方法



- ① POWER スイッチを押してプリンターの電源を入れる。
液晶ディスプレイのバックライトが緑色に点灯し、PRINT ランプ、ALARM ランプ、トレイライトが同時に点灯してから消灯します。
- 液晶ディスプレイの表示が待機状態（たとえば「COL-30」など）になっていることを確認してから、MENU ボタンを押す。
- ←、→ ボタンを押してメニュー（「COLOR」または「SET UP」）を選択する。
- ↑、↓ ボタンを押して設定項目を選択する。
- ←、→ ボタンを押して設定値を選択する。

- 設定が終わったら、MENU ボタンを押す。
液晶ディスプレイの表示が待機状態に戻ります。

色の調整値の設定を保存する

画質調整メニューで設定した内容を登録し、必要なときに呼び出して使用できます。異なる設定内容を2つまで登録できます。

設定内容を登録するには

- MENU ボタンを押す。
- ←、→ ボタンを押して「COLOR」を選択する。
- ↑、↓ ボタンを押して画質調整メニューの各設定項目（C-R、M-G、Y-B、SHARP、DARK、GAMMA、LIGHT、CURVE、ADVANCE）を選択し、それぞれ設定を変更する。
- 設定が終わったら、↑、↓ ボタンを押して「SAVE COL」を選択する。
- ←、→ ボタンを押して、設定内容を登録する番号（1または2）を選択する。
←、→ ボタンを押すと、液晶ディスプレイ上の「*」の位置が変わります。番号の左隣りに「*」を移動することで、その番号を選択できます。設定内容ごとに違う番号を選択することで、2つまで設定内容を登録できます。
設定項目の設定値の詳細はメニューの「COLOR」設定内で確認するか、設定値をプリントすることで確認ができます。(24 ページ)
- EXEC ボタンを押して設定内容の登録を確定する。
- MENU ボタンを押して待機画面に戻る。

設定内容を呼び出すには

- MENU ボタンを押す。
- ←、→ ボタンを押して「COLOR」を選択する。
- ↑、↓ ボタンを押して「LOAD COL」を選択する。
- ←、→ ボタンを押して、設定番号を選択する。

番号	説明
0	プリンタードライバーの色設定値がプリントに適用されます。

番号	説明
1 または 2	それぞれの設定番号で登録された画質調整のユーザー設定をプリンター内部の設定値に読み替えてプリントします。

5 MENU ボタンを押して待機画面に戻る。

設定値の一覧をプリントする

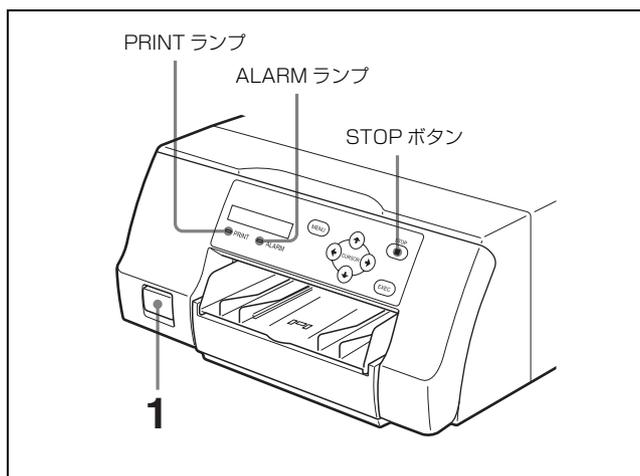
プリンターの現在の設定値の一覧を、下記の手順でプリントできます。

- 1 MENU ボタンを押す。
- 2 ←、→ ボタンを押して「SET UP」を選択する。
- 3 ↑、↓ ボタンを押して「PARAM PRT」を選択する。
- 4 → ボタンを押してから、EXEC ボタンを押す
プリンターの設定値の一覧がプリントされます。

プリントする

プリントを始める前に

- ・プリンターとコンピューターなどの接続は済んでいますか。(15 ページ)
- ・インクリボンとプリント紙は正しく取り付けられていますか。(17 ページ)
- ・プリンタードライバーはインストールされていますか。(16 ページ)



- 1 ① POWER スイッチを押してプリンターの電源を入れる。
液晶ディスプレイのバックライトが緑色に点灯し、PRINT ランプ、ALARM ランプ、トレイライトが同時に点灯してから消灯します。
- 2 コンピューターの電源を入れる。
- 3 コンピューターからプリント操作を行う。
コンピューターから画像データ受信中は、PRINT ランプが点滅します。
プリント中は、PRINT ランプが点灯します。

ご注意

- ・プリント中のプリント紙が見えますが、途中でプリント紙を引き出したりしないでください。
- ・プリントの途中で電源を切らないでください。紙詰まりの原因になります。
- ・プリントの途中でリボンドアパネルを開けないでください。開けるとプリントが中止されます。リボンドアパネルを閉じると、プリントの途中のプリント紙を排出し、プリンターは待機状態になります。
- ・液晶ディスプレイに「WAIT」と表示されているときは、リボンドアパネルを開けないでください。プリンターの内部処理中です。

- ・ 連続プリントが設定できるようになっていますが、プリント紙の反りの状態によっては、プリントが止まり、ALARM ランプが点灯します。そのような場合は、排紙口にたまったプリント紙を取り除いてください。自動的にプリント動作が再開され、残りのプリントが処理されます。
- ・ 排出されたプリント紙を 10 枚より多くためないでください。紙詰まりの原因となります。

プリントできないとき

リボンドアパネルを開いているときや ALARM ランプが点灯しているときはプリントできません。

詳しくは、「本体ランプ表示について」(32 ページ) をご覧ください。

プリント中にプリント紙またはインクリボンがなくなったとき

プリンターはプリント動作を終了します。新しいプリント紙およびインクリボンをセットすると自動的にプリント動作が再開され、残りのプリントが処理されます。

連続プリントを中止するには

STOP ボタンを押します。現在プリント中のものが終了し、排出されるとプリンターは待機状態になります。

プリント画を保存するときは

- ・ 直射日光の当たるところや、温度や湿度の高いところに置かないでください。退色する場合があります。
- ・ プリント画に粘着テープを貼ったり、プリント画を消しゴムやデスクマットなど可塑剤を含むものに触れさせないでください。
- ・ プリント画にアルコールなどの揮発性有機溶剤をこぼさないようにしてください。

本機の性能を保持するために

本機の性能を保持するために、「安全のために」(2 ページ)、「**▲警告**」(4 ページ)、「**▲注意**」(5 ページ)と併せてご覧ください。

使用上のご注意

液晶ディスプレイに「CLEAN HEAD」と表示された場合
 印画枚数が1,000枚に達すると、「CLEAN HEAD」というメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。この場合は感熱ヘッドをクリーニングしてください。クリーニングについて詳しくは「感熱ヘッドのクリーニング」(27 ページ)をご覧ください。

「CLEAN HEAD」が表示された後、プリンター前面のいずれかのボタンが押されると表示はいったん消えます。クリーニングされない場合、電源再投入時に再度メッセージが表示されます。

また、「CLEAN HEAD」メッセージの表示設定については、セットアップメニューの操作でオンまたはオフにすることが可能です。(22 ページ)

液晶ディスプレイに「CLEAN ROLL」というメッセージが表示された場合

本機は、給紙トレイ内の最後の1枚のプリントが終了すると、給紙ローラーの自動クリーニングを行います。まれに想定以上の給紙ローラーの汚れを内部センサーが検知した場合、液晶ディスプレイに「CLEAN ROLL」というメッセージが表示されます。この場合は給紙ローラーを手動クリーニングしてください。手動クリーニングについて詳しくは「給紙ローラーの手動クリーニング」(28 ページ)をご覧ください。

ローラークリーニングのメッセージは、給紙力が想定以上に低下した場合、プリント終了時に表示されます。

設置するときのご注意

次のような場所に設置または保管しないでください。

- ・ 直射日光のあたるところ
- ・ 湿気の多いところ
- ・ 極端に暑いところや寒いところ
- ・ 振動の多いところ
- ・ ほこりの多いところ
- ・ 不安定なところ

危険防止のため、本体の上にモニターなど、物を置かないでください。

注意

プリンター内部の温度上昇を防ぐために、プリンター周囲はスペースを十分に空けてください(10 cm 以上)。本体の側面にある通風孔をふさがないようにください。

☑️ 輸送するときは

プリンターを輸送する際は、次の手順で付属品を外し、ご購入時の梱包箱で梱包してください。付属品が取り付けられたまま輸送すると、故障の原因になることがあります。

- 1 インクリボンと給紙トレイを外す。
- 2 内部の感熱ヘッドを固定する。
 - ① ① POWER スイッチを押してプリンターの電源を入れる。
 - ② カーソル移動キーの ← と →、および MENU ボタンを同時に押す。
 プリンターの動作音が約 2 秒続きます。液晶ディスプレイには「WAIT」というメッセージが表示されます。
 - ③ プリンターの動作音が止まり、液晶ディスプレイに「TRANS MODE」と表示されたら、
 - ① POWER スイッチを押してプリンターの電源を切る。
 感熱ヘッドが固定されます。

感熱ヘッドの固定を外すには

再度電源を入れます。感熱ヘッドが移動し、インクリボンを取り付けることができるようになります。

長い間ご使用にならないときは

- ・ ① POWER スイッチを押してプリンターの電源を切り、電源コードを抜いてください。
- ・ 使用途中のプリント紙とインクリボンは本体から外して、製品の入っていた袋に戻して密封し、なるべく冷暗所にて保存してください。再度使用する場合には、水滴が付かないように、部屋の温度になじませてから開封して、使用してください。

結露について

- ・ 温度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。
- ・ 冬の寒い部屋から急に暖かい部屋にプリントパックを持ち込むと、インクリボンやプリント紙に水滴がつくこと

があります。そのまま使用すると、プリンターの故障の原因になる場合があります。また、一度水滴が付いたプリントパックを使用すると、プリント画にシミなどが現れることがありますので、急激な温度変化は避けてご使用ください。

お手入れ

ご注意

お手入れの際は、必ず電源を切って電源コードを抜いてください。

キャビネットが汚れたら

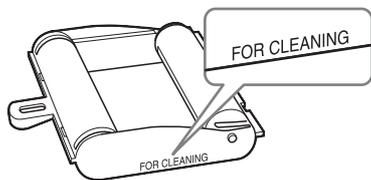
キャビネットの汚れはベンジンやシンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄液、化学ぞうきんなどで拭くと表面の仕上げを痛めたりすることがありますので、以下のことをお守りください。

- ・ 本体表面の清掃は、濃度 50～70 v/v% のイソプロピルアルコール、または濃度 76.9～81.4 v/v% のエタノールで清拭してください。
- ・ 汚れがひどいときには、クリーニングクロスなど柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を少し含ませて拭き取った後、上記薬液を用いて清拭してください。
- ・ 布にゴミが付着したまま強く拭かないでください。本体表面に傷がつくことがあります。
- ・ 本体表面にゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

感熱ヘッドのクリーニング

プリント画に白いスジが発生する場合は、付属の感熱ヘッドクリーニングカートリッジとクリーニングシートを使って、感熱ヘッドをクリーニングしてください。

感熱ヘッドクリーニングカートリッジ



プリント画の品質を維持するために、プリントパックの入れ替え時期（1 プリントパックを使い終わったとき）を目安として定期的にクリーニングすることをおすすめします。感熱ヘッドのクリーニングには、プリントパック UPC-21S/UPC-21L に付属の保護シートを裏返しにして、クリーニングシートとして使用します。

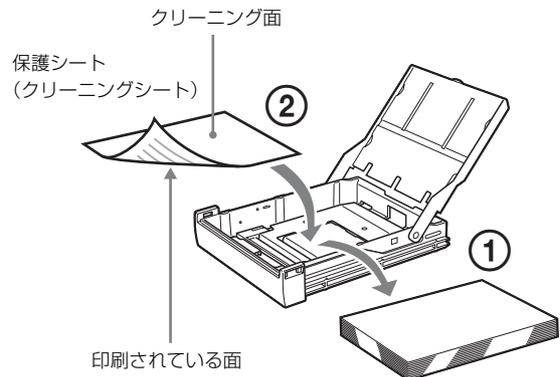
1 給紙トレイを押して取り出す。

給紙トレイからプリント紙をすべて取り除いてください。プリント紙が給紙トレイ挿入部に残っている場合は、プリント紙を取り除いてください。①

2 「プリント紙を入れる」（18 ページ）の手順3で取り除いた保護シート（クリーニングシート）を、裏面（印刷されていない面）を上にして給紙トレイに入れる。②

ご注意

一度クリーニングシートとして使用した保護シートを再使用しないでください。



3 給紙トレイをプリンターに取り付ける。

4 感熱ヘッドクリーニングカートリッジをプリンターに取り付ける。
インクリボンが取り付けられているときは、外してから、感熱ヘッドクリーニングカートリッジを取り付けてください。

取り付けかたはインクリボンと同じです。詳しくは「インクリボンを取り付ける」（17 ページ）をご覧ください。

感熱ヘッドクリーニングカートリッジを取り付けてリボンドアパネルを閉じると、液晶ディスプレイに「PRESS:EXEC」というメッセージが表示されます。

5 EXEC ボタンを押す。
クリーニングが始まります。
クリーニング中は、液晶ディスプレイに「CLEANING」と表示されます。
クリーニングシートが排出された後、液晶ディスプレイに「FINISHED」と表示されるとクリーニング動作は終了です。

ご注意

液晶ディスプレイに「CLEANING」表示が出ている間は、電源を切らないでください。

- 6** 感熱ヘッドクリーニングカートリッジを取り出す。
感熱ヘッドクリーニングカートリッジは、以後のクリーニング時にも使用しますので、捨てずに保管してください。

ご注意

- ・クリーニングシートとして使用した保護シートは再利用できません。
- ・感熱ヘッドクリーニングカートリッジは、繰り返し使えます。ほこりやごみが付かないように袋に入れて保管してください。

ご注意

- ・液晶ディスプレイに「CLEANING」表示が出ている間は、電源を切らないでください。
- ・クリーニング終了時に、給紙トレイが自動排出されます。
- ・空の給紙トレイを必ずプリンターに取り付けてください。
給紙トレイが入っていないと、故障の原因となる場合があります。

給紙ローラーの自動クリーニング

本機は、給紙トレイ内の最後の1枚のプリントが終了すると、給紙ローラーの自動クリーニングを行います。

自動クリーニング中は、液晶ディスプレイに「CLEANING」と表示されます。

クリーニング動作が終了すると、給紙トレイが排出されて自動クリーニングは終了です。

ご注意

- ・液晶ディスプレイに「CLEANING」表示が出ている間は、電源を切らないでください。
- ・クリーニング終了時に、給紙トレイが自動排出されます。

給紙ローラーの手動クリーニング

液晶ディスプレイに「CLEAN ROLL」というメッセージが表示された場合は、給紙ローラーを手動クリーニングしてください。

- 1** 給紙トレイを押して取り出す。
給紙トレイからプリント紙をすべて取り除いてください。プリント紙が給紙トレイ挿入部に残っている場合は、プリント紙を取り除いてください。
- 2** 空の給紙トレイをプリンターに取り付ける。
- 3** セットアップメニュー（21 ページ）から「CLEAN ROL」を選び、➡ ボタンを押す。
液晶ディスプレイに「PRESS:EXEC」が表示されず。
- 4** EXEC ボタンを押す。
給紙ローラーの手動クリーニングが始まります。液晶ディスプレイに「CLEANING」と表示されます。
給紙トレイが排出されて手動クリーニングは終了です。

使えるインクリボンとプリント紙



再使用禁止

動作不良の原因となり、印刷結果に悪影響を与えます。

カラープリントパック UPC-21S

240 枚分の高速 / 高感度用のカラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

80 枚分のプリント用インクリボン × 3 巻

80 枚分のプリント紙 (90 × 100 mm) × 3 袋

カラープリントパック UPC-21L

200 枚分の高速 / 高感度用のカラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

50 枚分のプリント用インクリボン × 4 巻

50 枚分のプリント紙 (100 × 144 mm) × 4 袋

カラープリントパック (UPC-21S/UPC-21L) について

ご注意

- ・プリント紙がなくなったら、プリント紙と一緒にインクリボンも交換してください。
- ・インクリボンとプリント紙は同じ箱に入っているものを必ずセットでお使いください。
- ・インクリボンの色素は他の色素と同様に年月の経過により変化しますが、その点についての補償、代償はご容赦ください。

プリント紙を保存するときは

- ・温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- ・使用途中のプリント紙とインクリボンは、本体から外して、製品の入っていた袋に戻して密封し、なるべく冷暗所にて保存してください。再度使用する場合は、水滴が付かないように部屋の温度になじませてから開封して使用してください。

プリント画を保存する場合のご注意

- ・プリント画は光の当たらない室温以下のところに保存してください。
- ・プリント画に粘着テープを貼ったり、プリント画を消しゴムやデスクマットなどの可塑性を含むものに触れさせないでください。

- ・プリント画にアルコールなどの揮発性有機溶剤をこぼさないように注意してください。

主な仕様

電源	100 V ～、50/60 Hz
入力電流	1.7 A
動作温度	5 ℃～35 ℃
動作湿度	20%～80% (ただし結露なきこと)
動作気圧	700 hPa～1,060 hPa
輸送保存温度	-20 ℃～+60 ℃
輸送保存湿度	20%～80% (ただし結露なきこと)
輸送保存気圧	700 hPa～1,060 hPa
最大外形寸法	約212 × 98 × 398 mm (幅/高さ/奥行き) 最大突起部含まず。
質量	約5.5 kg (本体のみ)
プリント方式	昇華熱転写型、YMC 3色重ね印画
感熱ヘッド	423 dpi
プリント階調	YMC 各色 8ビット (256階調) 処理 (イエロー、マゼンタ、シアン)
プリント画素数	UPC-21S 使用時、フル画面プリント： 1,600 × 1,200 ドット UPC-21L 使用時、フル画面プリント： 2,100 × 1,600 ドット
プリント時間	UPC-21S 使用時 約19秒 (高速印画時) UPC-21L 使用時 約29秒 (高速印画時)
インターフェース	Hi-Speed USB (USB 2.0 準拠)
入力端子	AC IN (電源入力用)
付属品	給紙トレイ (1) ストッパー (1) 電源コード (1) USB ケーブル 1-824-211-41 (SONY) (1) ご使用になる前に (1) ソフトウェア使用許諾書 (1) 感熱ヘッドクリーニングカートリッジ (1) CD-ROM (プリンタードライバー/取扱説明書ディスク) (1) 保証書 (1) セールス会社窓口のしおり (1) Information for Customers in Europe (欧州顧客向け情報) (1)

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。
他の機器には使用できません。

別売り品	カラープリントパック UPC-21S 240 枚分 (80 枚 × 3) カラープリントパック UPC-21L 200 枚分 (50 枚 × 4) ワイヤレスプリントシステム UPA-WU10 *
------	--

* 商品の取り扱いの有無については、お買い上げ店にお問い合わせください。

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

安全に関する仕様

電撃に対する保護の形式：

クラス I

水の浸入に対する保護等級：

0 級 (特に保護がされていない)

可燃性麻酔剤の点火の危険に対する保護：

空気、酸素または亜酸化窒素と混合した可燃性麻酔ガスが存在する環境での使用には適していません。

作動モード：

連続

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- ・ お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。本機や付属のソフトウェア、記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により正常に動作しなかった場合のプリント結果や記録データの補償については、ご容赦ください。
- ・ 故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

アフターサービス

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店にご相談ください。

ライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者様とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「The FreeType Project LICENSE」、「The Catharon Open Source LICENSE」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

The FreeType Project LICENSE

Copyright 1996-2002 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

TrueType フォントのラスターライズ処理は、FreeType Project のソフトウェアをベースにしています。

The Catharon Open Source LICENSE

Copyright(c) 2000 by Catharon Productions, Inc.
TrueType フォントのヒンテイング処理は、Catharon Productions 社のソースコードを使用しています。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときには、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

症状	原因と対処
コンピューターから画像を転送してもプリントしない	<ul style="list-style-type: none">① POWER スイッチが OFF になっています。 → ① POWER スイッチを ON にします。プリンターとコンピューターが正しく接続されていません。 → プリンターがコンピューターに正しく接続されているか確認してください。(15 ページ)
プリントできない	何らかの理由でプリントできない状態です。この場合は、リボンドアパネルの ALARM ランプが点灯し、エラーメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。 → 「エラーメッセージ一覧」(32 ページ) をご覧になり、適切な対処をしてください。
プリント画の色が薄い	プリント紙の入れかたが間違っています。 → プリント紙の表・裏を確認し、正しく入れ直してください。(18 ページ)
インクリボンが入らない	<ul style="list-style-type: none">本機で使用できないインクリボンを取り付けようとしています。 → 本機専用のインクリボンを取り付けてください。(29 ページ)感熱ヘッドが固定されています。 → プリンターの電源を入れてください。感熱ヘッドが移動し、インクリボンが取り付けられるようになります。インクリボンが正しい位置に挿入されていません。 → 正しい位置に挿入してください。
プリント紙が給紙されない	<ul style="list-style-type: none">プリント紙の先端が折れています。 → 先端の折れたプリント紙を給紙トレイから取り除いてください。正しい向きでプリント紙が給紙トレイに入っていません。 → プリント紙の向きを確認してください。S サイズのプリント紙の場合は、給紙トレイの仕切りを立ててお使いください。 給紙ローラーが汚れています。 → 給紙ローラーを手動クリーニングしてください。(28 ページ)
印刷されないでプリント紙が排出され、ALARM ランプが点灯し液晶ディスプレイに CHANGE RBN のメッセージが出る	リボンがなくなりました。 → リボンを交換してください。(17 ページ) なお、排出されたプリント紙は使用しないでください。

症状	原因と対処
印画面にキズ、スジが入る	感熱ヘッドが汚れています。 →感熱ヘッドをクリーニングしてください。 (27 ページ)

本体ランプ表示について

プリンター本体の各ランプの点灯・点滅の意味は以下のとおりです。

ランプ	液晶ディスプレイの表示	内容
PRINT 点灯 → 消灯	ALARM (起動情報)	起動時
消灯	(設定情報)	待機時
点滅	RECEIVING	画像受信中
点滅	COOLING	ヘッド温度調整中
点滅	HEATING	ヘッド温度調整中
点灯	FEED IN	給紙中
点灯	PRINT-Y/M/C/L	印画中
点灯	FEED OUT	排紙中

エラーメッセージ一覧

エラーが発生したときは、エラーの内容を示すメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。表示されるエラーメッセージと、そのエラーメッセージが表示されているときの PRINT ランプおよび PRINT ランプの動作、および原因と対処を下記に挙げます。

ランプ	液晶ディスプレイの表示	原因と対処
PRINT 消灯*	ALARM CLOSE DOOR	リボンドアパネルが開いています。 →リボンドアパネルを閉じてください。
消灯*	SET RIBBON	インクリボンがありません。 →インクリボンをセットしてください。(17 ページ)
消灯*	SET PAPER	・プリント紙がありません。 →プリント紙を入れて補給してください。(18 ページ) ・給紙トレイが取り付けられていません。 →給紙トレイを取り付けてください。(18 ページ)
消灯*	RMV PAPER	プリンター内部で紙詰まりが起きました。 →詰まったプリント紙を取り除いてください。 底板が取り外されています。 →底板を取り付けてください。(34 ページ)

ランプ		液晶ディスプレイ	原因と対処
PRINT	ALARM	の表示	
消灯*	点灯	RMV PRINTS	給紙トレイにプリント済みのプリント紙がたまりました。 → たまったプリント紙を取り除いてください。プリントが再開されます。
消灯*	点灯	CHANGE RBN	インクリボンがなくなりました。 → 新しいインクリボンを取り付けてください（インクリボンの再利用はできません。） 何もプリントされず白いプリント紙が排出された場合、そのプリント紙は使用しないでください。（18ページ）
消灯	点灯	CHK RBN 33/34	インクリボンが切れました。 → セロハンテープなどでつなげてください。（18ページ） インクリボンが切れていないにもかかわらずこのメッセージが表示される場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
消灯	点灯	CHK PAP: RBN	インクリボンとプリント紙の組み合わせが正しくありません。 → 同じプリントパックに入っていた組み合わせにしてください。（29ページ）
消灯	点灯	CHK RIBBON	本機で使用できないインクリボンが取り付けられています。 → 正しいインクリボンを取り付けてください。
消灯**	点灯	CHK PAP 50 ~ 6F	プリンター内部で紙詰まりが起きました。 → 詰まったプリント紙を取り除いてください。
消灯	点灯	TR TEMP 10 ~ 1F	感熱ヘッドの温度が異常です。 → プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。それでもメッセージが消えない場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

ランプ		液晶ディスプレイ	原因と対処
PRINT	ALARM	の表示	
消灯	点灯	TR TEMP 20/21	プリンターの内部温度が異常です。 → プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。それでもメッセージが消えない場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
消灯	点灯	TR HEAD 01 ~ 0F	感熱ヘッドの動作不良です。 → プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。それでもメッセージが消えない場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
消灯	点灯	TR FAN 90 ~ 9F	プリンター内部のファンに異常が発生しました。 → プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。それでもメッセージが消えない場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
消灯	点灯	SAVE ERR	プリンター内部に設定値の保存ができませんでした。 → プリンターの電源を切り、再度電源を入れて設定保存を再度行ってください。それでもメッセージが消えない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
消灯	点滅	WAIT	プリンター内部の紙の排出中です。 → 処理が終了するまでしばらくお待ちください。
消灯	点灯	WAIT	プリンター内部の処理中です。 → 処理が終了するまでしばらくお待ちください。
消灯	消灯	CLEAN HEAD	感熱ヘッドのクリーニングを行ってください。（27ページ）
消灯	点灯	CLEAN ROLL	給紙ローラーの手動クリーニングを行ってください。（28ページ）

ランプ	液晶ディスプレイ	原因と対処
PRINT	ALARM	の表示
消灯	点灯	SET TRAY
		給紙トレイが取り付けられていません。 → プリント紙をすべて取り除いた空の給紙トレイを取り付けてください。

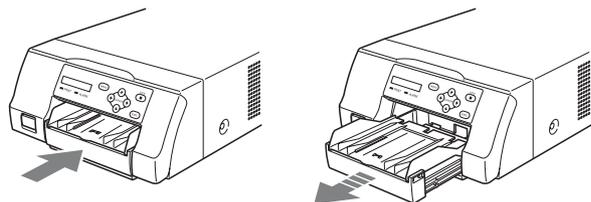
- * 連続印画中は点灯
- ** 51 のときのみ点灯

サービス窓口にお問い合わせの際は、液晶ディスプレイに表示されたメッセージ内容と英数字（表示がある場合）をお伝えください。

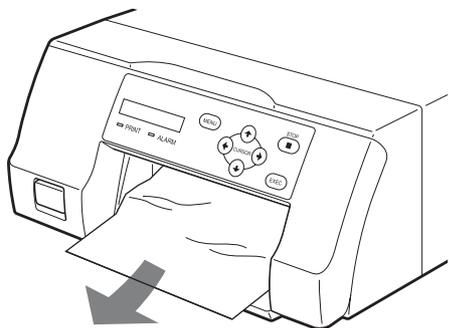
詰まったプリント紙を取り除く

プリントが始まってから、リボンドアパネルの ALARM ランプが点灯したり、コンピューターのモニター画面に「紙詰まりが発生しました。プリント紙を取り除いてください。」「紙詰まりが発生しました。印刷を中止します。プリント紙を取り除き、もう一度印刷してください。」または「プリンターの動作に問題が発生しました。印刷を中止します。電源を入れ直して、もう一度印刷してください。」というメッセージが出た場合は、プリンター内部で紙詰まりが起きている可能性があります。次の手順で、詰まったプリント紙を取り除いてください。

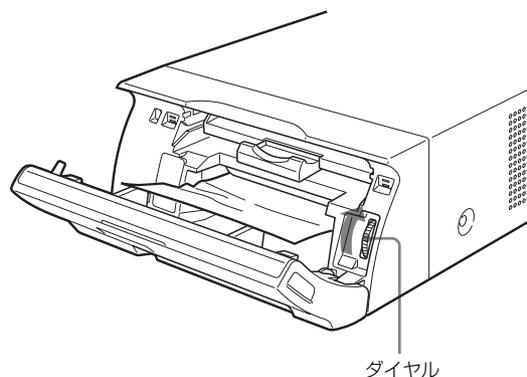
- 1 給紙トレイの ▲ マークの部分を押して、給紙トレイを取り出す。



- 2 途中で詰まっているプリント紙を取り出す。

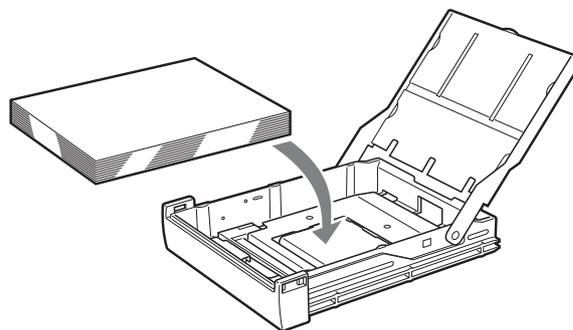


詰まったプリント紙が奥にあって取り出せないときは、リボンドアパネルを開き、ダイヤルを上に戻してください。奥に詰まったプリント紙が排出されます。



ダイヤルを回しても詰まったプリント紙を取り出せないときは、「詰まったプリント紙が取り出せないときは」（34 ページ）を参照してください。

- 3 プリント紙を正しくセットする。



ご注意

- ・ 手順2で取り出したプリント紙は使用しないでください。
- ・ 本機で推奨しているプリントパック以外のプリント紙を使用しないでください。

- 4 給紙トレイをプリンターに取り付ける。

詰まったプリント紙が取り出せないときは

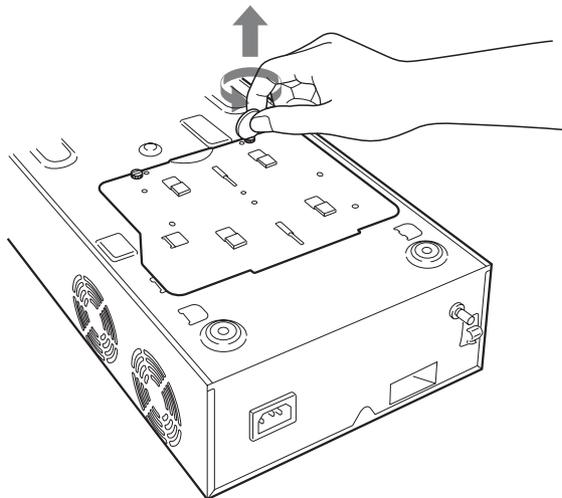
詰まったプリント紙が取り除けない場合は、次の手順でプリンターの底板を開いて、詰まったプリント紙を取り除いてください。

ご注意

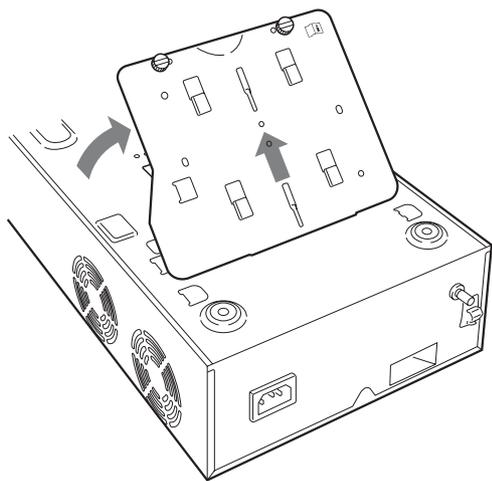
- ・ 以降の手順で詰まったプリント紙を取り除くときは、① POWER スイッチを押して電源を切るだけでなく、コンセントから電源コードを抜いてください。
- ・ プリンター本体を裏返す際は、接続コード類を外してください。折れたり、曲がったりすることにより、火災・感電の原因になることがあります。

・プリンターの内部に詰まっているプリント紙を取り除くために、プリンター内部の部品に触るときは、内部の部品でけがをしないようにご注意ください。

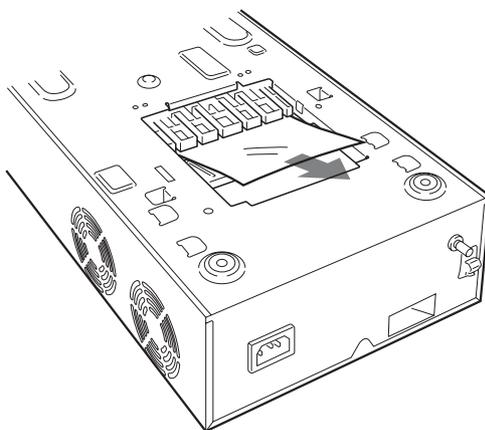
- 1 ① POWER スイッチを押してプリンターの電源を切り、電源コードを抜き、USB ケーブルも抜く。
- 2 給紙トレイをプリンターから取り出す。
- 3 プリンターを裏返す。
- 4 硬貨などを使って、底板を止めているビス 2 本を取り外す。



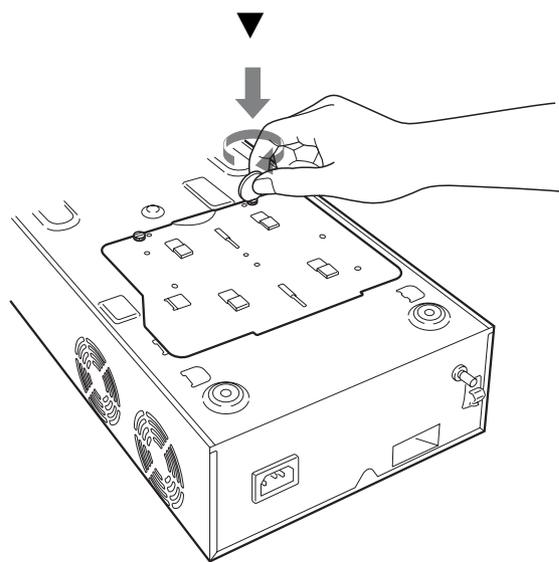
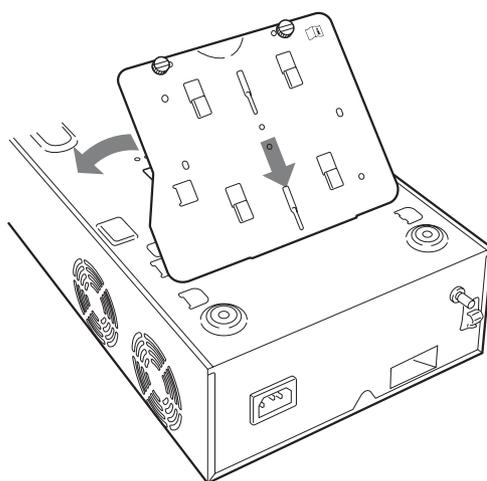
- 5 底板を持ち上げ、プリンターから外す。



- 6 詰まったプリント紙をゆっくりと取り除く。



- 7 底板を元どおり取り付け。



 **注意**

外した底板は必ず元どおりに取り付けてください。
底板を取り外したままではプリントできません。

詰まったプリント紙がどうしても取り除けない場合は
無理に取り出そうとせず、お買い上げ店またはソニーの
サービス窓口にご相談ください。



その他

お問い合わせは

「セールス会社窓口のしおり」にある窓口へ



ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1